



鼻をかんだティッシュに潜むもの

鼻をかんだティッシュ。

そこには、たくさんのばい菌がついています。

ティッシュについたばい菌（風邪やインフルエンザのウイルスを指しますが、ここでは分かり易くばい菌と書きます）は、ばい菌の種類や、温度・湿度によって変わりますが、2～12時間は感染する力を持つといわれています。

ポケットの中はどうなっている？

鼻水で濡れたティッシュをポケットに入れる

↓

ポケットを濡らしポケットにばい菌がうつる

↓

子どもがポケットに触れると、ばい菌が子どもに…！（感染の原因に）



ティッシュの捨て方

ばい菌がついたティッシュはビニール袋に入れて封をして捨てるか、蓋のついたゴミ箱に捨てるのが望ましいといわれています。

でも、どうしても捨てられないこともありますよね。

捨てるのが難しい場合、小さなゴミ袋をエプロンのポケットに入れておくのも一つです。できれば封ができる袋がいいですね。

アルコールを湿らせたティッシュを入れておくと、ばい菌のついたティッシュを入れた時にアルコールである程度、除菌することができます。

また封をすることで、ばい菌の広がりを抑えます。

鼻風邪が蔓延する冬。少しでも感染の機会を抑えて、みんなで元気に乗り越えたいですね。

